

授業科目名	在宅看護Ⅱ			担当教員	西村 和美、上野 満里	
開講年次	3年前期	セメスター	5	時間数(単位数)	30 (1)	
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	在宅ケアチームの一員としての看護の役割を理解し、在宅で提供する看護の基礎的な技術を習得する。					
到達目標	1. 訪問看護における訪問・面接技術・マナーについて習得し、療養者・家族との信頼関係形成の重要性を考慮することができる。 2. 在宅看護における看護過程の特質を理解し、演習事例の看護計画の立案、実施（ロールプレイ）、評価、修正まで実施できる。 3. 在宅ターミナルケアを取り巻く背景や意思決定への支援、家族への支援を理解できる。 4. 社会資源の活用についてケアマネジメントの視点から理解し、具体例としての介護保険制度と退院支援について理解できる。					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	在宅看護に必要な基礎的技術の内容と習得方法について理解する	講義	○ 予習：在宅看護Ⅰ復習（在宅看護Ⅰノート持参） ○ 復習：在宅での看護技術	30分 30分	西村	
2	訪問看護技術を学ぶ －演習オリエンテーション－	講義	○ 予習：在宅看護Ⅰ復習（在宅看護Ⅰノート持参） ○ 課題：演習事例通読、演習事例についての事前学習（病態・治療・看護）、看護計画〈様式2-1〉、〈様式2-4〉	30分 180分	西村	
3	訪問看護に必要な基本的技術を習得する －訪問・面接技術・マナーについて、訪問看護の初回訪問の設定にて演習－	演習	○ 予習：訪問、面接技術、マナーについて ○ 課題：「初回ロールプレイから学んだこと」	30分 60分	西村 上野	
4	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ（1）－療養者のとらえかた－	演習	○ 課題：演習事例通読、演習事例についての事前学習（病態・治療・看護）、看護計画〈様式2-5〉	120分	西村 上野	
5	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ（2）－看護計画立案①－	演習	○ 予習：演習事例再度通読し情報を確認し、不足している情報を確認する。	30分	西村 上野	
6	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ（3）－看護計画立案②－		○ グループの看護計画〈様式2-6〉は、担当教員に提出しフィードバックを受け修正する。 ○ 復習（課題）：次回演習までに実践（ロールプレイ）ができるように実習室2を使用して準備しておく。	60分 120分		
7	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ（4）－看護計画実施①（ロールプレイおよび看護計画発表）	演習	○ 復習（課題）：グループで作成した看護計画の評価・修正、担当教員に提出しフィードバックを受け修正する。	120分	西村 上野	
8	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ（5）－看護計画実施の評価①－					

9	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ（6）－看護計画修正－	演習	○ 予習：不足していた病態生理・治療・看護などを調べ、〈様式2-4〉再修正	60分	西村 上野
10	在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ（7）－全体像のとらえ方－		○ 復習：看護計画実施の評価の振り返りおよび看護計画の〈様式2-6〉再修正	120分	
11	在宅療養における社会資源について	講義	○ 復習：ケアマネジメント（ノートのまとめ）	30分	上野
12	介護保険制度におけるケアマネジメント	講義	○ 予習：社会資源について（事例で活用できる社会資源）	30分	上野
13	在宅ターミナルケア（1）－在宅緩和ケアにおける疼痛コントロール	講義	○ 復習：疼痛コントロール演習プリント	30分	西村
14	在宅ターミナルケア（2）－看取りに必要な意思決定への支援・家族への支援	講義	○ 復習：在宅ターミナルケア（ノートまとめ）	30分	西村
15	在宅看護Ⅱのまとめ 演習課題・定期試験に関するフィードバック	講義 AB 合同	○ 復習：国家試験状況設定問題（在宅事例）	60分	西村
先行履修科目	2年後期までに履修すべき全ての科目				
テキスト	波川京子他 編集：在宅看護学（第5刷増補新訂版）. クオリティケア, 2016.				
参考文献	臺有桂他 編集：ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術. メディカ出版, 2018. 原礼子：プリンシプル在宅看護学. 医歯薬出版, 2015.				
留意点	第2～10回で一連の流れで演習する。				
科目の位置づけ	本科目は、在宅看護Ⅰ（2年後期）で学んだ知識を元に演習を実施し、在宅看護実習（3年後期）に直接的につながるものである。また、地域で生活する療養者の看護を考える上で、3年前期科目「公衆衛生看護Ⅰ」「公衆衛生看護活動Ⅰ」「保健・福祉行政論Ⅱ」とも関連が深い。 在宅ターミナルケアの内容は、2年前期選択科目「緩和ケア」の知識を踏まえると理解しやすい。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		○		◎	
評価方法	定期試験（50%）、課題レポート・演習提出物・取組み姿勢（50%） 注）再試は実施しない。				